

生冠中学校いじめ防止対策基本方針

学校教育目標

知性、感性、道徳心や体力の調和のとれた人間性豊かな生徒を育成する。

家庭・地域との連携

- ・ P T A
- ・ 各家庭
- ・ 民生委員
- ・ 学校運営協議会委員

生冠中学校いじめ対策委員会

- <目的>
学校いじめ防止基本方針に基づき、いじめの防止等に関する措置を実動的、組織的に行う。
- <組織構成>
- 1 校長、教頭、学年担任、生徒指導主任、養護教諭
事案に応じて、担当者（教科担任、部活動顧問等）を加える。
 - 2 SC、SSW、学校運営協議会委員、弁護士、医師、警察官経験者等

関係機関との連携

- ・ 市教育委員会
- ・ 市福祉課 ・ 警察署
- ・ 県中央児童相談所
- ・ 県総合教育センター
- ・ SC ・ S S W
- ・ 民生委員
- ・ 学校ネットパトロール事業

教育活動の重点

- ・ 全教職員が連携し学校は子どもたちに良質な教育環境を提供することを基に、常に自分を鍛え、安全・安心で楽しく学ぶ場として、明朗闊達な校風を確立する。
- ・ 人権尊重の精神に立って生徒理解に努め、教育愛に基づく「厳しさ」と「温かさ」の指導理念の基に、一人一人の能力個性を伸長する心の教育を推進する。
- ・ 善悪の判断力、他人を思いやる心、感動する心などを育む心の教育、道徳教育の充実を図る。
- ・ 基本的な生活習慣の確立や主体的に判断し行動できる生徒の育成、不登校対策の充実を図る。

生徒の主体的な活動

- ・ 生徒会活動に自主的に参加しながら自治意識を高める。
- ・ 学校生活の充実や改善向上を目標に、自ら考え気付き実行する生徒会活動を推進する。
- ・ いじめ防止標語、あいさつ運動、人権週間の取組、学級新聞づくり、ボランティア活動等

いじめの防止

- 【教職員】
- ・ いじめは、どの学級にもどの生徒にも起こりうることを強く意識し、常に危機感をもちいじめ問題への取組を継続して行う。
 - ・ 学校の重点目標として、自他の生命の尊重、善悪の判断力、他人を思いやる心などを育む心の教育、道徳教育の充実を組織的に推進する。
 - ・ 全教育活動を通して人権教育に取り組み、人間尊重の精神に基づいた人権感覚の育成を図る。
- ・ 学期初めの早い時期に「いじめ問題を考える週間」を設定し、命の大切さやいじめ問題を主題とした授業を実施する。
- 【生徒】
- ・ いじめ防止に資する生徒が自主的に行う生徒会活動に対する支援を行う。
 - ・ 豊かな情操と道徳心を養い、心の通うコミュニケーション能力を向上させる。
- 【保護者】
- ・ 家庭や地域との連携を密にし、学校の方針や取組について理解を得る機会を設け、いじめ問題の重要性の認識を深める。

いじめの早期発見

- 【教職員】
- ・ いじめは「どの学級でも、どの子でも起こり得る」「1件でも多く発見し、1件でも多く解決する」との基本認識をもち、無記名アンケート調査や個別面談など、生徒の状況を把握する機会を定期的に設ける。
 - ・ 生徒が発する小さなサインを見逃さず、教職員間で積極的な情報交換を行ったり、保護者や関係者からの幅広い情報収集に努める。
- 【生徒】
- ・ 学校楽しいーとやいじめアンケート、生活の記録等を活用して日頃から信頼関係をつくり、気軽に相談できる体制づくりを行う。
- 【保護者】
- ・ いじめに係る相談ができるように、来校相談やスクールカウンセラーとの相談ができるように体制の整備を行う。

いじめに対する措置

- 【教職員】
- ・ いじめを認知した場合は、いじめられている生徒に対して、学校を挙げて守り抜くことを伝え、保護者と十分に連携しながら対応する。
 - ・ いじめを行った生徒に対しては、保護者の理解と協力を得ながら、いじめは人間として絶対に許されない行為であることを十分理解させるよう、根気強く毅然とした指導を徹底する。
 - ・ 深刻な事態を招く可能性がある場合は、市教育委員会や警察等と連携を図る。
- 【生徒】
- ・ いじめを受けた生徒に対して、寄り添い支えるとともに、必要に応じていじめられた生徒が落ち着いて学習できる環境の確保を図る。
 - ・ いじめた生徒に対して、当該生徒が抱える課題や悩みを理解するなどの教育的配慮の下、毅然とした態度で指導する。
 - ・ 周りではやし立てる生徒、見て見ぬふりをする生徒への働きかけを行い、いじめを根絶しようとする態度を育成する。
- 【保護者】
- ・ いじめをやめさせ、再発を防止するため、いじめを受けた生徒の保護者に対する支援といじめを行った生徒の保護者への助言を継続的に行う。
 - ・ いじめの関係者間における争いを生じさせないよう、情報を関係保護者と共有するための措置を講じる。

生徒指導の体制

- ・ いじめ対策委員会
 - ・ 生徒指導部会
 - ・ 職員研修
 - ・ 小・中連携事業
 - ・ かごしま教育ホットライン24
- 相談体制
- ・ 教育相談
 - ・ チャンス相談
 - ・ アンケート調査
 - ・ SC
 - ・ S S W
- 職員研修

【研究主題】

『学力の定着を図る取組の工夫』
～主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくりを基盤に～

啓発資料の活用

- ・ 家庭用いじめ対策リーフレット
- ・ 家庭用ネットいじめ対策リーフレット等

【年間計画】

目標	計画及び評価	実態把握等	各教科・道徳・特活等	生徒会活動	情報モラル関連	教育相談	職員研修
4 学校生活や集団生活の決まりを示す	年間及び1学期活動計画の検討 取組評価アンケートの作成	学校楽しいーと①	「いじめ問題を考える週間」の取組	新入生オリエンテーション	各教科における指導計画の確認	家庭訪問	・ 生徒指導共通理解 ・ 特別支援教育
5 生徒の状況を把握し適切な対応をする	実態に基づいた対応策の検討 学校いじめ対策委員会	いじめアンケート	人間関係づくりの取組	生徒総会			・ 「主体的・対話的で深い学び」の実現へ向けて
6 生徒の状況を把握し適切な対応をする	取組評価アンケートの実施	教育相談アンケート①					・ 学力向上（NRT分析） ・ 小中合同研修会 ・ 学校保健に関する研修
7 夏休み中の過ごし方について指導する	取組評価アンケートの実施、集計 取組の検証	学校楽しいーと②	道徳（思いやり）	校内球技大会	学級PTA 携帯・ネット利用状況調査	教育相談 三者相談	
8 2学期に向けた生徒の実態把握に努める	実態に基づいた対応策の検討 2学期の活動計画の検討						・ 小中一貫推進協議会 ・ ICT教育 ・ 学力向上
9 学校行事の成功へ向けて生徒の団結力を高める		いじめアンケート	「いじめ問題を考える週間」の取組 人間関係づくりの取組				・ 人権同和教育
10 生徒の状況を把握し適切な対応をする	学校いじめ対策委員会	学校楽しいーと③	道徳（集団生活の向上）	小中合同ボランティア活動 立ち会い演説会選挙			
11 生徒の状況を把握し適切な対応をする		三者面談・教育相談アンケート②		赤い羽根共同募金活動		教育相談 三者相談	
12 人権意識を高める取組を実践する	取組評価アンケートの実施、集計 取組の検証	いじめアンケート	人権問題について考える取組 人権教室	ペットボトル・ブルタブ回収	携帯・ネット利用状況調査 学級PTA		・ 「主体的・対話的で深い学び」の実現へ向けて
1 生徒の状況を把握し適切な対応をする	3学期の活動計画の検討	いじめアンケート	道徳（友情・信頼）	書き損じハガキ回収			・ 総合的な学習の次年度の取組について
2 より良い人間関係づくりに努める	取組評価アンケートの実施、集計 学校いじめ対策委員会	教育相談アンケート③	情報モラルについて考える取組		学級PTA		・ 研修の反省と次年度の内容について
3 次年度に向けて体制や活動の見直しを図る	取組の検証	いじめアンケート	道徳（自他の尊重）	3年生を送る会 球技大会	情報モラル教室	教育相談	